

体 育

1 体育科の教育課程の編成

(1) 教科・科目設定の趣旨

体育科設定の具体的なねらいとして、第1は、運動についての理解と運動の合理的な実践を通じて、心身の発達を最大限に伸長するとともに、体育・スポーツに関する教養を培い、将来における体育・スポーツの指導者としての資質や能力を育てることであり、第2は、特定のスポーツ等を選択して履修することによって、高度な運動技能を持つ生徒を育成し、我が国のスポーツの技能水準の向上を図ることとしている。したがって、これらのねらいを十分踏まえ、特色のある教育課程を編成することが大切である。

(2) 科目編成と標準単位数

科目の編成は、体育理論と運動に大別し、運動を体づくり運動、スポーツ及びダンスに分け、さらにスポーツを「スポーツⅠ」（体操競技、陸上競技及び水泳競技）、「スポーツⅡ」（球技）、「スポーツⅢ」（武道等）及び「野外活動」に分けている。

標準単位数については、地域や学校及び生徒の実態等を考慮して設置者が定めることとなっている。したがって、学校においては科目の構成に配慮し、定められた標準単位数にもとづき、教育課程の編成や指導計画の作成に当たることが必要である。

科目編成及び北海道教育委員会が定めた標準単位数は次のとおりである。

科 目	標準単位数
体 育 理 論	3～6 単位
体づくり運動	3～6 単位
ス ポー ツ Ⅰ	2～8 単位
ス ポー ツ Ⅱ	2～8 単位
ス ポー ツ Ⅲ	2～8 単位
ダ ン ス	2～8 単位
野 外 活 動	3～6 単位

2 指導計画の作成と内容の取扱い

(1) 各科目の取扱い

ア 「体育理論」、「体づくり運動」及び「野外活動」については、各年次において、原則として、すべての生徒に履修させること。

イ 「スポーツⅠ」、「スポーツⅡ」、「スポーツⅢ」及び「ダンス」については、これらのうちから生徒が能力・適性等に応じて1科目以上を選択して履修できるようにすること。

(2) 各科目の内容の取扱い

ア 「体育理論」及び「体づくり運動」については、示している内容のすべての事項を履修させること。

イ 「スポーツⅠ」、「スポーツⅡ」、「スポーツⅢ」、「ダンス」及び「野外活動」の各科

目に示す事項については、内容に示している種目のうちから、生徒が能力・適性等に応じて、それぞれの科目の中から一つ以上を選択して履修することができるようにすること。

3 配慮すべき事項

(1) 安全に対する指導について

運動の実践が事故などを伴うこともあることから、体育の学習指導では、自己の健康や体力を十分理解し、施設・設備や器械・器具等を点検したり、練習する場などの安全を確かめるとともに、運動の難易度や自己の技能の程度を知って安全に配慮すること。

(2) 体ほぐしの運動の指導について

「体づくり運動」の内容として示した「体ほぐしの運動」については、「スポーツⅠ」、「スポーツⅡ」、「スポーツⅢ」及び「ダンス」の指導との関連を図ること。

(3) 体力の測定について

体力の測定については、計画的に実施し、運動の指導及び体力の向上に活用することができるよう、年間の指導計画を作成する段階で具体化する必要がある。

(4) 集団行動の指導について

集団行動の指導に当たっては、集合、整とん、列の増減、方向変換などの行動の仕方が、各科目の指導において適切に実践できるようにすることが必要である。なお、集団行動の指導の効果を上げるためには、体育科だけでなく、学校の教育活動全体において指導するよう配慮する必要がある。

(5) コンピュータや情報通信ネットワークの活用について

各科目の指導に当たっては、その特質を踏まえ、必要に応じて、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用し、学習の効果を高めるよう配慮する必要がある。

具体的には、体育理論の学習における情報の収集、体力に関するデータの処理・分析、技能に関する分析などが考えられる。なお、運動の実践では、補助的手段として活用するようにし、活動そのものの低下を招かないように留意する。

4 質疑応答

問1 「野外活動」における「水辺活動」とはどのような活動なのか。また、実施に当たっての留意事項は何か。

「水辺活動」は河川、湖沼、海などの自然を利用して、自然に親しみながら行う活動であり、カヌー、サーフィン、スクーバ・ダイビングなどのマリンスポーツ等がある。

自然の状況を的確に把握しながら、安全に活動を行うための知識や技能を習得できるようにする。また、水辺活動の実施に当たっては、実施する場所の地理的条件や天候に関する基本的な調査を含め、学習計画の段階で十分な安全に関する調査を行うようにする。なお、カヌー及びボートについては、実施の条件が整っている場合には、「スポーツⅠ」の特性に応じた指導についても考慮することができる。